

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の 発生予察注意報（令和6年度2回目）の発表について

7月1半旬（7月1日～5日）のチャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数が、過去10年で最大となっています。リンゴ、ナシへの被害が大きくなることが予想されるため、5月23日に続き発生予察注意報（第4号）を発表します。

1 発表の根拠

- （1）県内7地点に設置しているチャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数^{*1}は、平年^{*2}に比べて多く推移しています。7地点の総誘殺数^{*3}の対平年比は、前回注意報を発表した5月は2.5倍でしたが、7月1半旬（7月1～5日）は10.2倍となっており、7地点とも過去10年で最大となっています。
- （2）果樹園へのチャバネアオカメムシの飛来が確認されており、モモ、スモモ、ウメに続いて、ナシやリンゴの幼果への加害が確認されています。
- （3）今後1ヶ月の気象予報（7月11日気象庁発表）では、気温が高い確率70%であり、チャバネアオカメムシの活動がさらに活発になり、多くの成虫が果樹園に飛来すると考えられます。

2 発表の内容

- （1）作物名 果樹（リンゴ、ナシ）
- （2）病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）
- （3）発生地域 県内全域
- （4）発生量 多い

3 その他

- （1）果樹カメムシ類の注意報は、令和6年3月22日～7月11日までに32都府県から発表されています。また、関東地方では1都6県のすべてで発表されています。
- （2）生産者に対しては、ほ場をよく見回り、早期発見と薬剤による適切な防除を呼びかけます。
- （3）群馬県では、主にチャバネアオカメムシを対象に、果樹カメムシ類の調査を行っています。

1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップ

チャバネアオカメムシが、仲間にエサなどがあることを知らせるために放出する「集合フェロモン」を用いて成虫を誘殺し、発生状況を調査するための器具です（下写真）。

「集合フェロモン」は、雄雌ともに誘引するため、果樹園内で交尾して卵を産み、ふ化した幼虫による被害につながる可能性があるため、フェロモントラップは果樹園から少し離れた地点に設置します。



矢印の先についている樹脂（赤色の針金状の物）に含んだ集合フェロモンに誘われて、チャバネアオカメムシが飛来します。

洗面器には水がためられており、ここに落ちたチャバネアオカメムシを数えます。

2 令和6年7月1半旬の誘殺数・・・平年との比較

	令和6年 (頭)	平年 (頭)	対平年比 倍率 (倍)
高崎市上里見町	22	5	4.4
高崎市高浜町	69	18	3.8
高崎市箕郷町	88	5	17.6
渋川市渋川御影	291	20	14.6
渋川市横堀	117	13	9.0
沼田市井土上町	108	6	18.0
中之条町折田	130	14	9.3
7地点合計	825	81	10.2

3 現在までに果樹カメムシ類の注意報を発表した都府県一覧

※()は発表日

発表日が複数ある県は 果樹カメムシ類の注意報を複数回発表した県

神奈川県(4月3日)
鳥取県 (4月17日、7月10日)
山口県 (4月23日)
和歌山県(4月25日、6月21日、7月12日)
高知県 (4月26日)
徳島県 (4月30日)
香川県 (5月1日)
福岡県 (5月1日)
京都府 (5月2日)
兵庫県 (5月2日)
長崎県 (5月2日)
熊本県 (5月2日)
大分県 (5月8日、7月5日)
愛知県 (5月9日)
茨城県 (5月10日、7月11日)
千葉県 (5月10日)
埼玉県 (5月10日、7月12日)
岡山県 (5月10日)
栃木県 (5月13日)
石川県 (5月16日)
奈良県 (5月16日)
大阪府 (5月16日)
滋賀県 (5月20日)
東京都 (5月21日)
岐阜県 (5月21日)
群馬県 (5月23日、7月18日)
富山県 (5月23日)
広島県 (5月23日)
三重県 (5月23日、7月16日)
愛媛県 (6月7日)
島根県 (7月1日)
山梨県 (7月11日)

令和6年度 発生予察注意報 第4号

作物名 果樹（リンゴ、ナシ）
病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）

※ 本県の主要な果樹カメムシ類はチャバネアオカメムシです。

1 注意報の内容

- (1) 発生地域 県内全域
- (2) 発生量 多い

2 注意報発表の根拠

- (1) 県内7地点に設置しているチャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数^{*1}は、平年^{*2}に比べて多く推移しており（図1～7）、7月1半旬（7月1～5日）の7地点の総誘殺数^{*3}は、平年に比べて3.8倍～18.0倍となっており、7地点とも過去10年^{*4}で最大となっています。
- (2) 果樹園へのチャバネアオカメムシの飛来が確認されており、モモ、スモモ、ウメに続いて、ナシやリンゴの幼果への加害が確認されています。
- (3) 今後1ヶ月の気象予報（7月11日気象庁発表）では、気温が高い確率70%であり、チャバネアオカメムシの活動がさらに活発になり、多くの成虫が果樹園に飛来すると考えられます。

3 防除対策と防除上の留意点

- (1) チャバネアオカメムシの飛来状況は果樹園によって大きく異なります。園内外を見まわり、早期発見と薬剤による適切な防除に努めてください。
- (2) 農薬の散布は夕方または早朝に行うと効果的です。
- (3) 袋がけした果実でも、果実が肥大し袋に密着すると加害される場合があるので注意してください。
- (4) 農薬散布は、必ずチャバネアオカメムシの飛来を確認してから行ってください。過度な農薬散布は、天敵を減少させることになり、ハダニ類やカイガラムシ類の多発生を招きます。特にピレスロイド系薬剤は、天敵への影響が大きいため多用を避けてください。

- *1 誘殺数：フェロモンによって誘われトラップに捕殺された数
- *2 平年：過去10年の平均値。ただし高崎市高浜町は2016年から調査を開始したため過去8年の平均値となる
- *3 7地点総誘殺数：期間内に7地点で観測された誘殺数の合計
- *4 過去10年：*2のとおり高崎市高浜のみ過去8年との比較

チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数の推移

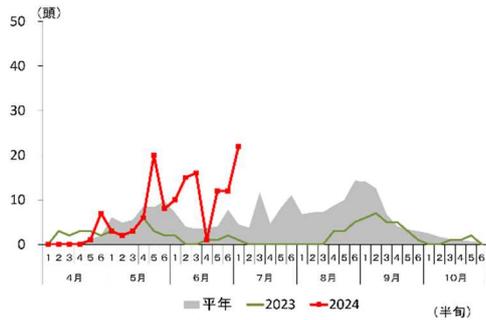


図1 高崎市上里見町

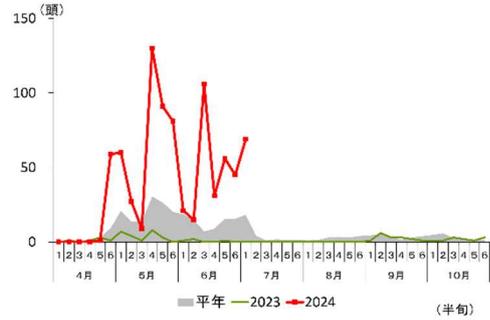


図2 高崎市高浜町

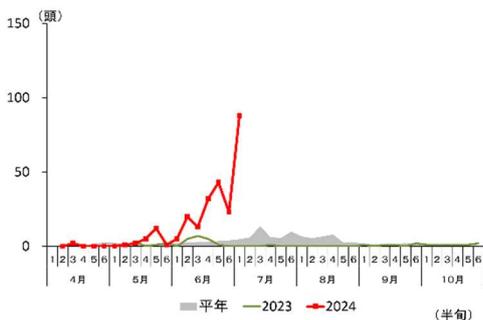


図3 高崎市箕郷町

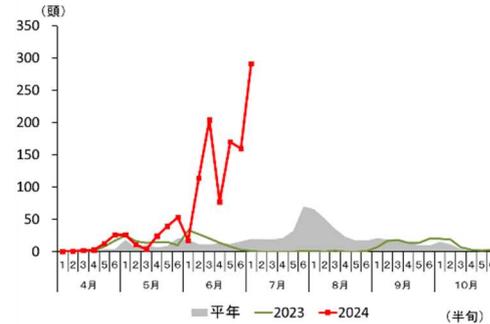


図4 渋川市渋川御蔭

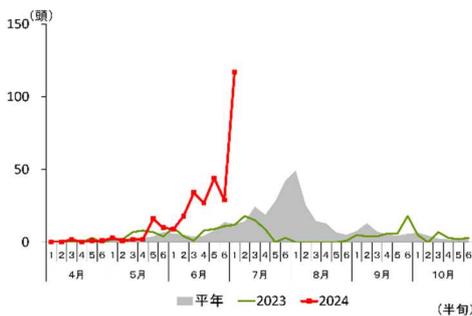


図5 渋川市横堀

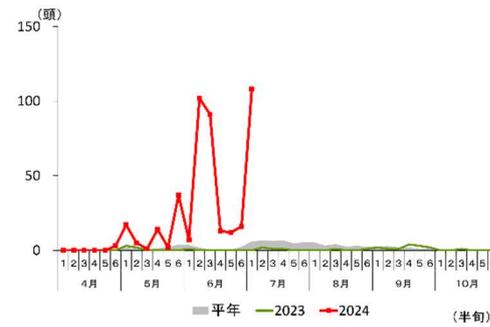


図6 沼田市井土上町

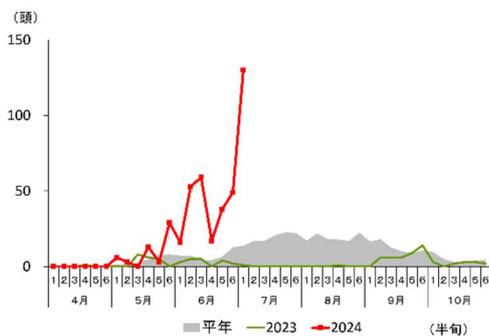


図7 中之条町折田



写真1 チャバネアオカメムシの成虫 (体長10~12mm)

※地点によって縦軸のスケールが異なりますので注意してください。

最新の情報は群馬県農業技術センターホームページの病害虫発生予察情報一覧に掲載しています。

群馬県農業技術センターホームページ病害虫発生予察情報一覧

→ <https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>

